

神奈川畜産情報

発行所
神奈川県畜産会
横浜市磯子区西町14-3
畜産センター内
電話 045(761)4191
FAX 045(759)1162
発行人
平本光男

畜産映像情報

(公社)中央畜産会からのお知らせ

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！
配信中の内容：総集編 若さ勝負！全国若手能力共進会 特別区/畜産DX特集 総集編 養鶏・養豚の今に迫る/コントラクターと連携 大分県鹿田牧場/他

「がんばる!畜産!」
高産映像情報

スマートフォンからはこちら
パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産

(公社)中央畜産会 経営支援部(情報) TEL03-6206-0846

隔月1回発行

〔神奈川畜産情報(平成18年1月号以降)はホームページでもご覧になれます〕

神奈川県畜産会のホームページ

「かながわ畜産ひろば」(<http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm>)

十一月第一日曜日は「かながわ畜産の日」

記念イベントを湘南台公園で開催

11月5日(日)、「かながわ畜産の日」の制定を記念したイベント、「かながわ畜産の日フードフェス2023 in 湘南台」と「第32回かながわトントンまつり」が同時開催され、会場となった湘南台公園には、好天に恵まれたこともあって8千人を超えるご来場がありました(かながわ畜産の日の趣旨については2ページ目を参照)。

たくさんのご来賓のもと執り行われた開会式では、主催者を代表して平本会長から、日付の由来について、「第1回神奈川県畜産共



記念日登録証の授与(左:加瀬代表理事、右:平本会長)

進会が開催されたのが11月1日であり、11月はいい肉の日などゴロが良く、イベントのベストシーズンであることから、11月第一日曜日をかながわ畜産の日と定めたとの紹介がありました。

一般社団法人日本記念日協会による「かながわ畜産の日記念日登録証授与式」では、同協会の加瀬清志代表理事から、「記念日協会は全国で唯一の記念日を認定する機関です。これまで、全国で2700件ほどの記念日が登録されていますが、「かながわ」と名の付く記念日は今回が初めてであり、なおかつ、「畜産」と名の付く記念日も初めてとなります。「かながわ・畜産」という畜産業全体を包括した記念日登録は、まさに、神奈川県が初めてとなりますが、記念日は日付のある文化であり、毎年必ずやってくるものなので、ぜひ、かながわの畜産を大いにPRしていただいて、神奈川の畜産の歴史を今後も深めていただければと思います」とのごあ



食品販売ブースの賑わい

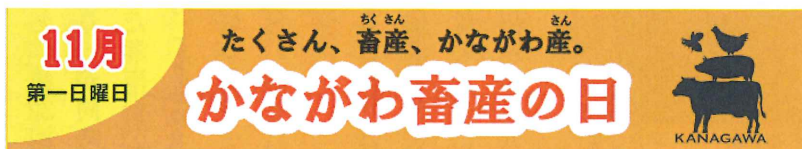




家畜展示ブースは乳牛、肉牛、豚、鶏が出展

いさつをいただきました。
会場は、牛乳・乳製品、牛肉、豚肉、鶏肉の焼肉や加工品、鶏卵・焼き菓子、はちみつなどの県産畜産物や地場産農産物など21のブースが一堂に会し、一方で、消費者が普段は間近に見る機会のない乳牛、肉牛、豚、鶏の展示や模擬搾乳体験、かながわの畜産に関するパネル展示などが盛りだくさんの内容となりました。
好評につき追加販売をかけるブースもあり、来場者アンケートでは、「おいしかった」、「県産畜産物をたくさん知ることができてよかった」

「毎年来たいたい」、「神奈川の畜産をもっと広めよう」、「本物の家畜が見られてよかった」、「農家の皆さんには頑張ってもらいたい」など、神奈川の畜産を応援するたくさんの方が寄せられました。
11月中は、地域の大型直売所や農場の直売所でも、かながわの畜産をPRしていただいております。また、学校給食への県産畜産物の提供に併せて食育活動等を実施するなど、様々な形でかながわの畜産をPRしていくこととしています。
なお、今回の、かながわ畜産の日の制定に対し、飼料製造販売業や動物用医薬品販売業、食肉流通業など、畜産業に関わる企業の皆様からも協賛をいただき、厚く御礼申し上げます。
(畜産会 高尾)



かながわ畜産の日とは？

神奈川県は横浜開港時の外国人を対象とした生産から160年を超える歴史があり、近年は戸数・頭数とも減少していますが、畜産物のブランド化や6次産業化の取組などがさかんです。

かながわの畜産が、これまで、県民のご理解のもと発展してきたことに感謝し、これからも、県民の期待に応える気持ちを込めて、11月第一日曜日を、「かながわ畜産の日」と定め(※)、この日に記念イベントを開催するとともに、11月に県内各地で開催されるイベントなどを通じて神奈川県の畜産をPRすることで、県民の神奈川の畜産に対する理解を深め、神奈川の畜産の持続的な発展に繋がります。

※一般社団法人日本記念日協会の登録団体は一般社団法人神奈川県畜産会です

2023年の取組は？

記念イベント開催 (11月5日)

湘南台公園に県産畜産フードが大集合！

農産物直売所などでかながわの畜産をPR (11月中)

地域の大型直売所や農場の直売所がかながわの畜産をPR

子どもたちにも「かながわの畜産」を知ってほしい (11月中)

学校給食への県産畜産物の提供に併せて食育活動等を実施

2023年の取組に関する情報はこちらをご覧ください
<http://kanagawa.lin.gr.jp>



かながわ畜産物フェア2023を川崎競馬場で開催 畜産物の認知度向上と消費拡大、畜産の理解醸成の促進

令和5年10月9日(月・祝)にかながわ畜産ブランド推進協議会(以下、協議会)主催・畜産会及びかながわ酪農活性化対策委員会共催で、川崎競馬場でかながわ畜産物フェア



抽選会



どうぶつ〇×クイズ

2023を開催しました。

県産畜産物を賞品とした抽選会(148名参加)や県産牛乳を参加賞としたどうぶつ〇×クイズ(142名参加)、募金でくじに参加し卵がもらえるチャリティーたまごくじ(100名参加)を実施し、協議会幹事会ワーキンググループで生産者が意見を出し合い作成したクリアファイルも併せて配布しました。フェア



協賛レースの実施



畜産業への理解醸成パネル



クリアファイルと畜産関連チラシ

当日は、5,455名が川崎競馬場に来場しており、協議会を構成する団体職員及び生産者が一体となってフェアを盛り上げ、雨天にも関わらず各会場で列ができるほどの盛況ぶりでした。クイズ会場では消費者と生産者が直接触れ合いクイズを楽しみ様子が見られ、畜産に対して理解を深めていただく大変貴重な機会となりました。

また、飼料価格の高騰で厳しい状況にある畜産業について、パネル(協議会製作)展示やチラシ(農林水産

省製作「国産の牛乳、お肉、卵を食べてまろう」を配布し理解醸成を促しました。

当フェアは川崎競馬のメインレース「笑顔あふれる「うまい!」かながわ賞」に伴って開催され、他にも県産畜産物を賞品とした公式X(旧Twitter)での勝ち馬当てクイズや場内の大型スクリーン及び川崎競馬場公式YouTubeで県畜産のPR動画の放映等も行いました。

当日の運営に御協力いただきました団体職員及び生産者の皆様、また、開催にあたり長期にわたり調整いただきました川崎競馬組合の御協力に感謝いたします。(畜産課 弦巻、池)

地方競馬の収益金は
畜産振興に役立てられています。

川崎競馬開催日

- 12月11日(月)~12月15日(金)ナイター
- 1月1日(月)~1月5日(金)ナイター
- 1月29日(月)~2月2日(金)ナイター

令和六年神奈川県飼料作物 奨励品種の指定について

令和五年十月に飼料作物奨励品種を指定しました。

今回、「新スノーデント115」

【トウモロコシ】

品種名（系統名）	RM	早晩生	耐倒伏性	主な特性	指定年次
パイオニア 100日（P9400）	100	極早生	○	乾物収量多い 二期作栽培の1作目に適する	H28
パイオニア 106日（36B08）	106	極早生	◎	アップライト草姿 乾物収量多い、根腐病に強い	H15
パイオニア 108日（34N84）	108	早生	◎	乾物収量多い、二期作栽培の 1作目にも利用できる	H30
スノーデント 110（LG30500）	110	早生	◎	乾物収量多い 二期作栽培の1作目に適する	R5
スノーデント 115（SH4681）	115	早生	○	乾物収量多い、雌穂割合が高い	H19
NS115 スーパー（KE9601）	115	早生	◎	乾物収量多い	H27
Z-Corn 115（ZX3158）	115	早生	○	乾物収量多い	R3
新スノーデント 115（LG31.588）	115	早生	◎	乾物収量多い	R6
ゴールドデント KD671（KD671）	117	早生	◎	乾物収量多い	H30
パイオニア 118日（P2088）	118	早生	○	乾物収量多い	H28
Z-Corn 118（ZX4182）	118	早生	◎	乾物収量多い	H29
スノーデント 118R（SH5702）	118	早生	◎	乾物収量多い	R4
ゴールドデント KD731（KD731）	123	中生	○	乾物収量多い、二期作栽培の 2作目にも利用できる	H28
パイオニア 130日（P3893）	130	晩生	◎	乾物収量多い 二期作栽培の2作目に適する	R5

（RM115 早生）を追加しました。適正植栽本数等を守って栽培して下さい。トウモロコシ以外の草種については畜産技術センターのホームページをご覧ください。
（畜産課 堀口）

令和5年度鶏魂供養祭が 開催される

10月10日（火）、大雄山最乗寺において恒例の鶏魂供養祭が執り行われました。

昨年に引き続き、関係者が一堂に会して開催でき、幾多の鶏の御霊に対し心魂込めて供養いたしました。昨シーズンは全国で1771万羽もの尊い命が高病原性鳥インフルエンザの発生によって失われることとなりましたが、今シーズンはぜひとも穏やかなシーズンとなりますよう祈るばかりです。
（畜産会養鶏部会 倉迫）



牛マルキン

（肉用牛肥育経営安定交付金制度）
交付状況

令和五年七月～八月の交付金単価（肥育牛一頭当たり）（概算払額）
○肉専用種

- 七月 九四、三八〇・五円
- 八月 一六二、三八七・二円
- 交雑種
- 七月 三九、七〇一・〇円
- 八月 五一、八四三・八円
- 乳用種
- 七月 三一、四〇八・四円
- 八月 二七、九一七・三円

（畜産会 倉迫）

肉用子牛生産者補給金制度

令和五年度第二四半期（五年七月～九月）の指定肉用子牛の品種区分ごとの平均売買価格は次のとおりでした。

- 黒毛和種 五二一、六〇〇円
- 交雑種 二九九、六〇〇円
- 乳用種 一九六、九〇〇円

黒毛和種は保証基準価格（五五六〇〇円）を平均売買価格が下回り、差額の三四、四〇〇円の生産者補給金が交付されることになりました。

乳用種・交雑種は保証基準価格、合理化目標価格を共に上回っているため、生産者補給金の交付はありません。

（畜産会 香取）

今も現役で汚水を処理する54歳の家畜用浄化槽

家畜用浄化槽が昭和44年に当所に導入されて以来、水質汚濁や悪臭対策のために、家畜用浄化槽で汚水を処理する方法が全国に普及しました。令和3年2月に公表された「家畜排せつ物処理状況等調査結果」から全国の家畜用浄化槽の普及状況を見てみましょう！

酪農の浄化処理

乳用牛のふん尿は、69%がふん尿混合、31%がふん尿分離で処理されており、汚水のうち家畜用浄化槽で浄化処理されたのち河川等の公共用水域に放流しているのは1%、公共下水道への投入は0.3%です（図1）。

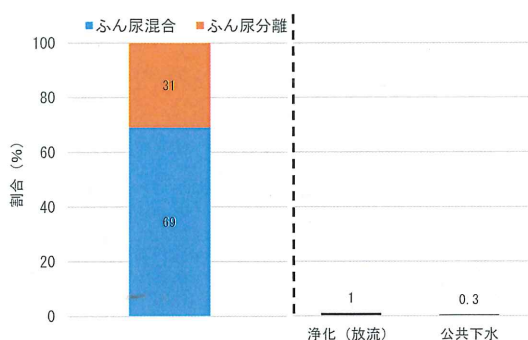


図1 酪農のふん尿分離状況と汚水浄化処理の割合

養豚の浄化処理

養豚のふん尿は、24%がふん尿混合、76%がふん尿分離で処理されており、家畜用浄化槽で浄化処理されたのちに公共用水域に放流しているのは57%、公共下水道への投入は0.7%です（図2）。

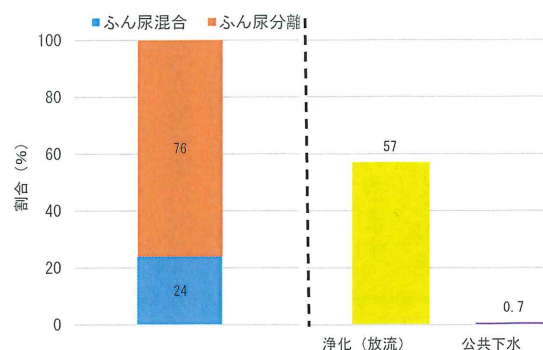


図2 養豚のふん尿分離状況と汚水浄化処理の割合

住宅と接近して農場が立地する本県の場合は、ふん尿分離後に家畜用浄化槽で汚水を処理する方法が普及しており、公共下水道を利用する地域も増えています。

畜産試験場に建設された家畜用浄化槽

写真は、神奈川県畜産試験場（現在の畜産技術センター）に建設された家畜用浄化槽です。

機器類の保守に加え、曝気装置の改良、膜処理装置や汚泥脱水機の導入など機能向上を図ってきましたが、建設から54年を経た現在も豚舎から排水された汚水を毎日浄化処理し、公共用水域へ放流しています。

当所で開発された家畜用浄化槽は、図2で示した通り、現在では全国の養豚の57%が利用するまで普及しました。



写真 昭和44年に神奈川県畜産試験場に建設された家畜用浄化槽

家畜用浄化槽の開発当初は、BODなどの水質汚濁物質の低減が目的でしたが、現在では窒素・リンなどの新たな環境負荷物質の低減などが求められています。

当所では、回分式活性汚泥浄化槽の環境負荷物質低減等に加え、消費電力の少ない浄化処理技術の開発に取り組んでいます。今後の排水規制に対応するだけでなく、地球温暖化防止に寄与するべく、温室効果ガス排出の少ない、消費電力量削減による低炭素な地球にやさしい浄化処理技術の開発も進めていきます。（畜産技術センター 川村英輔）

今年もシーズンに入りました！

鳥インフルエンザは、A型インフルエンザウイルスが引き起こす鳥の病気で、病原性やウイルスの型によって、高病原性鳥インフルエンザ、低病原性鳥インフルエンザ等に区別しています。ウイルス表面にある赤血球凝集素タンパク(HA)とノイラミニダーゼ(NA)の種類で分類され、H5N1亜型、H5N8亜型のように記されます。

令和四年度シーズンは、過去最速の十月二十八日に家さんで高病原性鳥

インフルエンザ国内一例目が確認されて以降、26道県84事例発生し約1771万羽が殺処分の対象になりました。また、動物園等での飼養鳥では6件10事例、野鳥では、28道県242事例の報告がありました。その一例目は本県で、家きん同様、過去最速となる令和四年九月に、ハヤブサの衰弱個体から、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N1亜型)が検出されました。さらにシーズン終盤となる

家保だより

令和五年三月には、養鶏場に近い地点で、複数のハシブトカラスから高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)が検出され、気の抜けない状況が続きました。

令和五年度シーズンは、北海道で十月四日に死亡野鳥(ハシブトガラス)から高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)が検出され、今シーズン一例目の確認事例となりました。近年の国内の状況及び世界各地での発生状況を

考慮すると今シーズンも発生リスクが高くなるが予想されます。

畜産農家の皆さまにおかれましては、ご関心・ご心配は尽きず、日頃より飼養衛生管理基準に則り、発生予防対策を取っていただいていることと思います。家畜保健衛生所においても、農家の皆さまに適宜情報をお伝えしていきます。発生を未然に防ぐため、引き続きご理解・ご協力を宜しくお願いいたします。

(県央家畜保健衛生所 平野幸子)

クラスタとは集団感染

爆弾の種類もクラスタ

ロシアのウクライナへの軍事進攻が続き、一年八か月以上にもなってしまった。双方とも大量殺りく兵器「クラスタ」爆弾を使いだした。この爆弾は大型の爆弾の中に沢山の小型爆弾を入れて殺傷力が膨大。更に小型爆弾が不発弾となつて地中に残り地雷と同じ危険もあるので使つてはいけな代物。

我々畜産関係者が古くから使っていた「クラスタ」という言葉は搾乳機の乳頭に装着する四本の乳頭受け碗に関連する房状部分のこと。本来 Clusterとは果実や花の房の意味で、同種の集団や群れのことを。畜産経営施設の集合しているところを畜産団地などと言っていました。それを畜産クラスタと表現するようになりました。

新むらすずめ

畜産と関係のない方が机上に開いてある畜産関係の雑誌を見て「畜産界でも何か伝染病が感染蔓延しているの?」と問われました。一般のマスコミの言うクラスタは伝染病が蔓延して集団感染したことでしようから、伝染病を思うのは無理からぬ事。

それにしても、カタカナ語が多過ぎるな。証拠、根拠、証明と言えはいいのにエビデンス。伝染病には「集団感染」が一番わかりやすいし、「搾乳機の乳頭装着部」と言えば誰でも分かるし、畜産クラスタは古くからの「畜産団地」に。「クラスタ爆弾」を「小型爆弾多量集積弾」と。「インボイス制度」を

「消費税関連適正取引制度」では的はずれかな? なるべく日本語を使いましょう。

英語の「エアークラフト キャリアー」を直訳すると「飛行機を運ぶ物」となりますが、それを日本では「航空母艦」と言います。なんと味わい深いことでしょう。優雅ですよね日本語は。

(忠九朗)